

2018/12/22 (土) 10:00 ~ 13:00
at 福祉センター

鎌倉の未来について考え、 行動するためのワークショップ

第2回 鎌倉市のありたい姿を描く



セッションの目的

明日の鎌倉、10年後の鎌倉、百年後の鎌倉。

—とともに考え、ともに創る人、募集—

鎌倉市のありたい姿を描く

本日の進め方

1

10:00-10:40

市民対話の目的や進め方を共有する

イントロダクション / 第1回市民対話の振り返り
/ ストーリーテリング

2

10:40-11:35

**社会・経済・環境の観点から、
2030年の鎌倉のありたい姿を考える**

ワールドカフェ / 休憩

3

11:35-13:00

「2030年の未来の物語」を描く

チームづくり / 主人公のプロフィールをつくる / 2030年、未来の
物語をつくる / 物語にタイトルをつける / 発表 / クロージング

1. 市民対話の目的や進め方を共有する

- ・ イントロダクション / 第1回市民対話の振り返り / ストーリーテリング

Introduction



鎌倉市
共創計画部
企画計画課
飯泉 浩二さん

鎌倉市
共創計画部
政策創造課
中山 秀樹さん

中山さん「前回から、あっというまの2回目ですね。実は1回目のセッションの評判がとてもよくて、レポートを見た人からたくさんの問い合わせをいただきました。お隣の逗子市だけでなく、神奈川県を越えた他の都道府県からも、“興味深い！”“見てみたい！”という声をいただきました。そんな状況ですので、今日も楽しく進めていきましょう！」

飯泉さん「今回から初参加の方もいらっしゃいますので背景を簡単に説明します。鎌倉市は現在、第3次鎌倉市総合計画の第4期基本計画を策定しています。鎌倉をどんなまちにするか総合的な計画を立てているのです」

中山さん「総合的な計画とは…？」

飯泉さん「市の、都市計画や福祉、環境などについてのすべてを考えます。**市が未来に進むための道しるべをつくっている**と捉えてください。そこに**SDGsの視点も盛り込もうと考えています**」

中山さん「SDGsとは、サステナブル・ディベロップメント・ゴールズの略ですね。日本語で言えば持続可能な開発目標のこと。世界が抱えている問題を解決して、豊かな未来が続くよう国連加盟国が2015年に合意したものです。17の目標があるのですが大きく分けると、**経済・社会・環境**となります。この**3つをバランスよく成り立たせることが大切**なのだという考え方ですね」

中山さん「たとえば、経済のみが優先された大量生産、消費、廃棄のようなことは見直そうというわけです」

飯泉さん「ここ鎌倉市もこれからどんどん人口が減るだろうという推測があります」

中山さん「人口ピラミッドで見るとマッシュルーム型。若い人が少なく、高齢者が多い比率になります。健康に長生きできる人が増えるということはよいことなのですが、やっぱりこれもバランスが大切で……」

飯泉さん「市の運営という点で考えると、人口が減ると当然、市の財政は厳しくなり、施策の実行も困難になりそう……。鎌倉市はこれまでも持続可能な都市経営を推進してきましたが、SDGsと同じく2030年に向けての鎌倉を描いていきたいと思っています」

中山さん「そして、そういった未来の鎌倉を実現してくためには、行政の力だけでは足りません」

飯泉さん「**市民のみならず、企業、NPOなど、多様なセクターの人たちと一緒に、鎌倉の未来を描いて、実際に動いていきたいと思っています**。今日の場合は、そのためのものです。みんなで一緒に、鎌倉の未来を描いていきましょう！」

2. 社会・経済・環境の観点から、 2030年の鎌倉のありたい姿を考える

・ ワールドカフェ

ワールドカフェ

3つの問い

社会

2030年、ありたい
ご近所関係とは？

環境

2030年、自然と
文化に触れ続けら
れるまちとは？

経済

2030年、社会・
環境を支え、けん
引する経済とは？



ワールドカフェ (1) 社会：2030年、ありたいご近所関係とは？

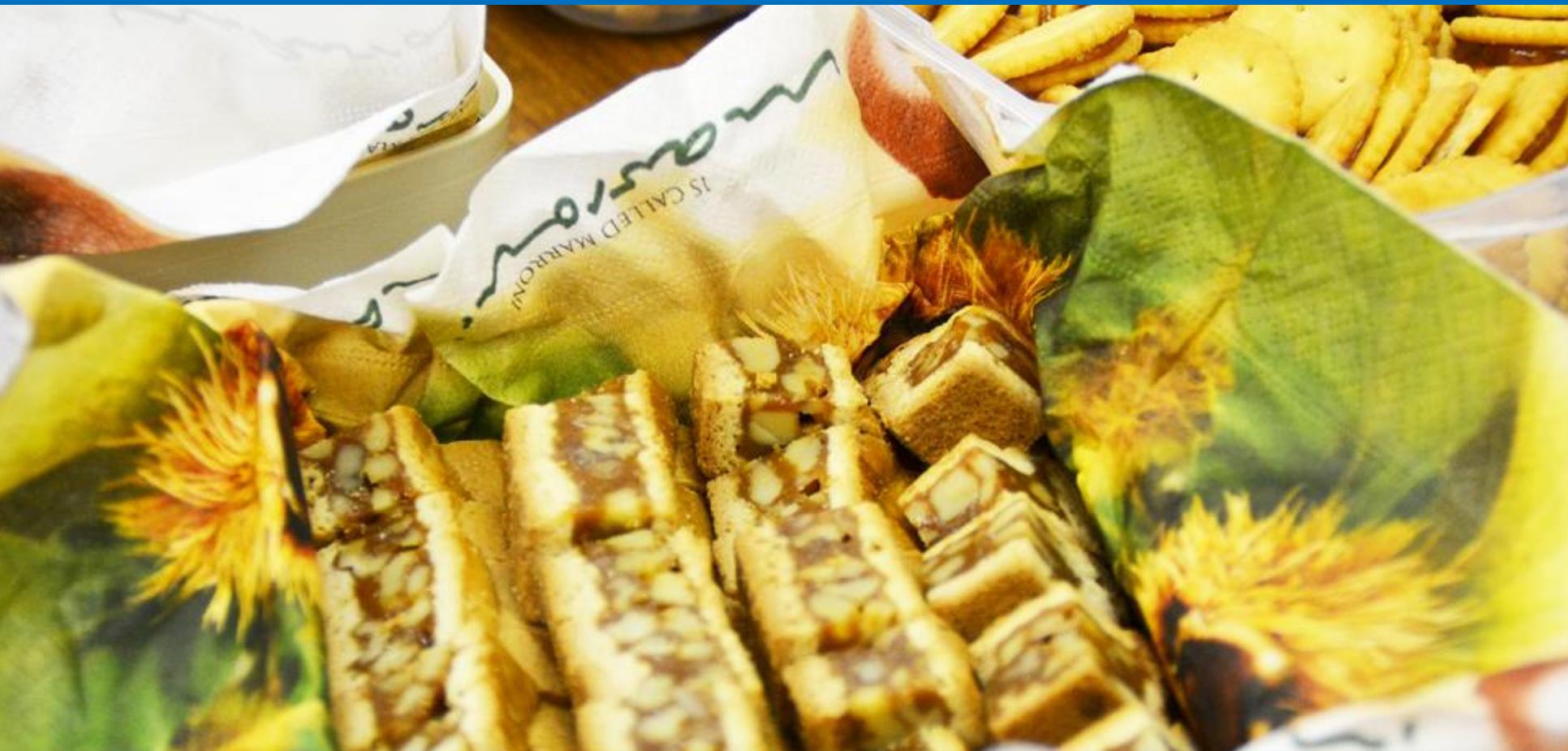


ワールドカフェ (2) 環境：2030年、自然と文化に 触れ続けられるまちとは？



ワールドカフェ (3)

経済：2030年、社会・環境を支え、 けん引する経済とは？



3. 「2030年の未来の物語」を描く

- チームづくり / 主人公のプロフィールをつくる / 2030年、未来の物語をつくる / 物語にタイトルをつける / 発表 / クロージング

A group of people, including men and women of various ages, are gathered in a well-lit room. They are wearing blue lanyards with ID badges. Some are standing in small groups, talking and smiling. In the background, there are whiteboards and a large window with sheer curtains. A table on the right side of the room has some food and drinks on it. The overall atmosphere is collaborative and professional.

チームづくり

・ 社会・環境・経済の3つの視点のうち、関心のあるものに分かれ、その中でチームを作る



主人公のプロフィールをつくる

- 名前、年齢は？
- 鎌倉市で、どのように暮らしている？働いている？学んでいる？
- どんな野望や課題を持っている？



2030年、未来の物語をつくる

- ・ 起・承・転・結の4コマで、主人公が鎌倉市で暮らす / 働く / 学んでいるからこそその喜びに出会うストーリー

社会の視点から考えた 3つの未来の物語

社会 A

かまくらっ子が
活躍できるまち

社会 B

なんとなく
暮らしている主婦が
鎌倉でつながる幸せ
を実感できるまち

社会 C

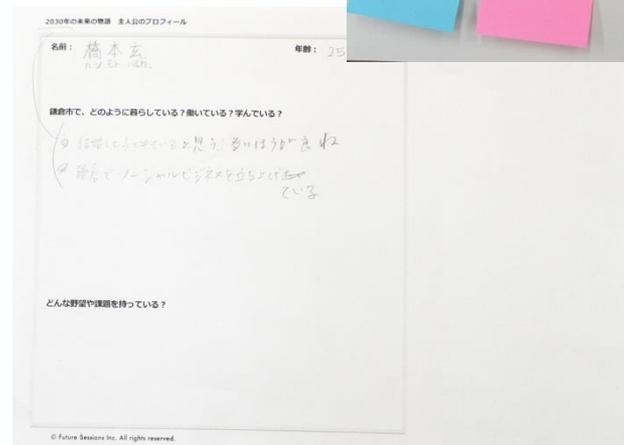
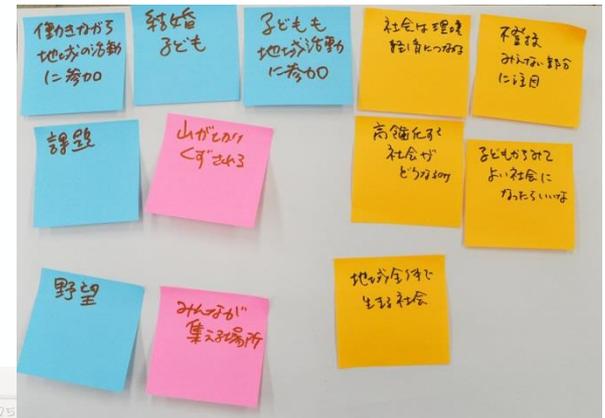
一教員でも
コミュニティ
スクールが
できるまち

Presentation

かまくらっ子が活躍できるまち



Social (社会)
Environment
economy



Presentation

かまくらっ子が活躍できるまち①

主人公は、鎌倉の豊かな自然の中で育った橋本玄（はるか）くんです。子どもの頃の玄くんは、地域の人たちと餅つきや木登り、まき割りなどをして、鎌倉の自然の中を自由に駆けまわっていました。

2030年、玄くんは結婚して、子どももたくさん。また、仕事はソーシャルビジネスを立ち上げました。

Social(社会)

Environment

economy

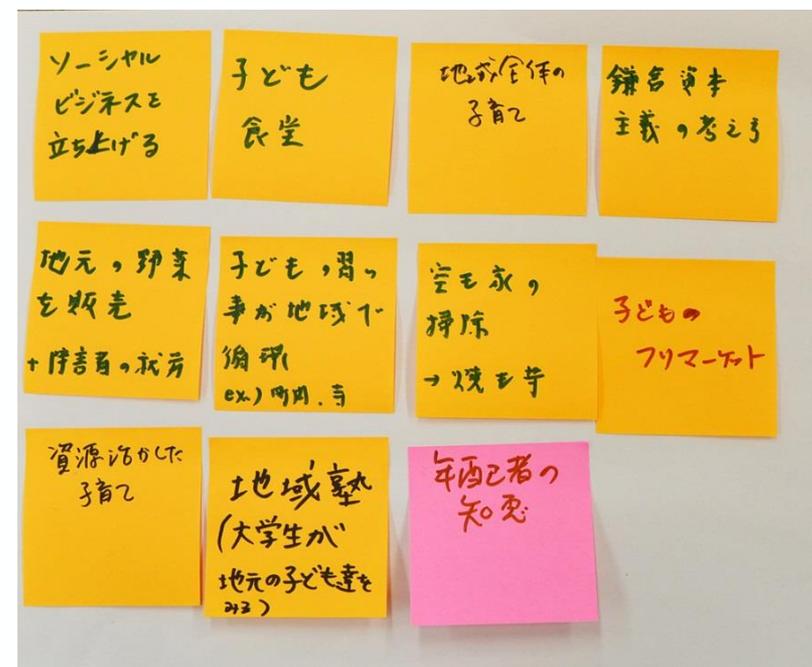


Presentation

かまくらっ子が活躍できるまち②

2030年、鎌倉資本主義の考えのもと地域通貨が流通しています。地元の野菜が大切にされ、フリーマーケットが開かれ、障がい者の雇用も推進されています。玄くんはソーシャルビジネスで野菜の販売や塾の経営などを行なっています。多世代の人材資源を活かしたソーシャルビジネスは順調に進んでいます。

Social (社会)
Environment
economy

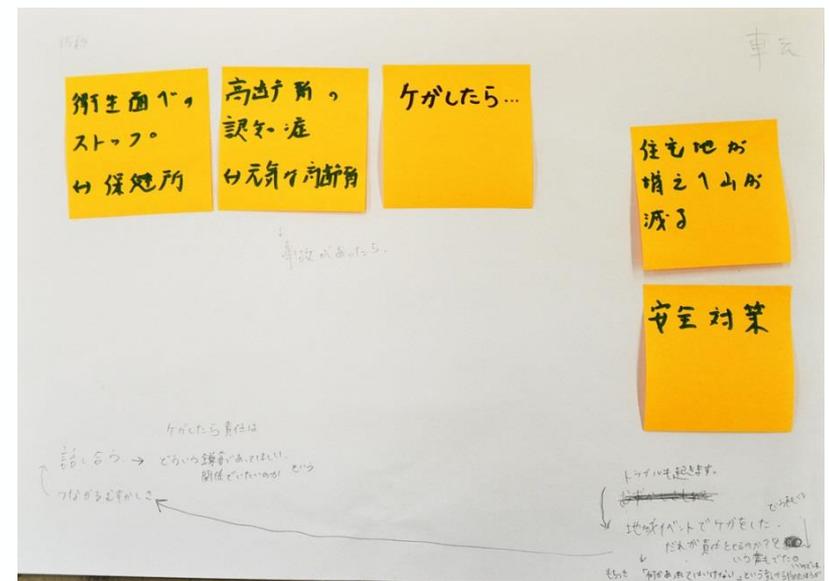


Presentation

かまくらっ子が活躍できるまち③

順調に進んでいたビジネスですが、トラブルも起きました。例えば、ケガをしたときに誰が責任とるのかなど、曖昧なことによる問題が起き、“地域の活動をやめたら？”という声も出てきてしまいました。

Social(社会)
Environment
economy

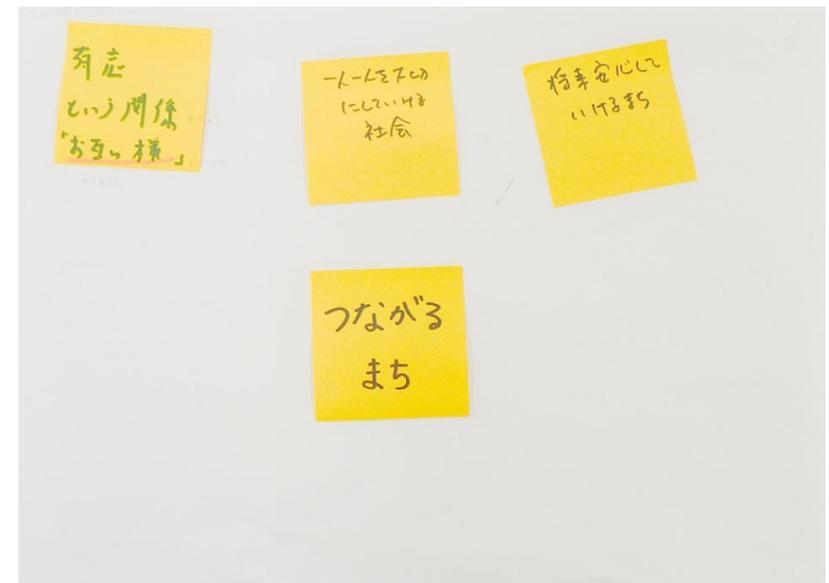


Presentation

かまくらっ子が活躍できるまち④

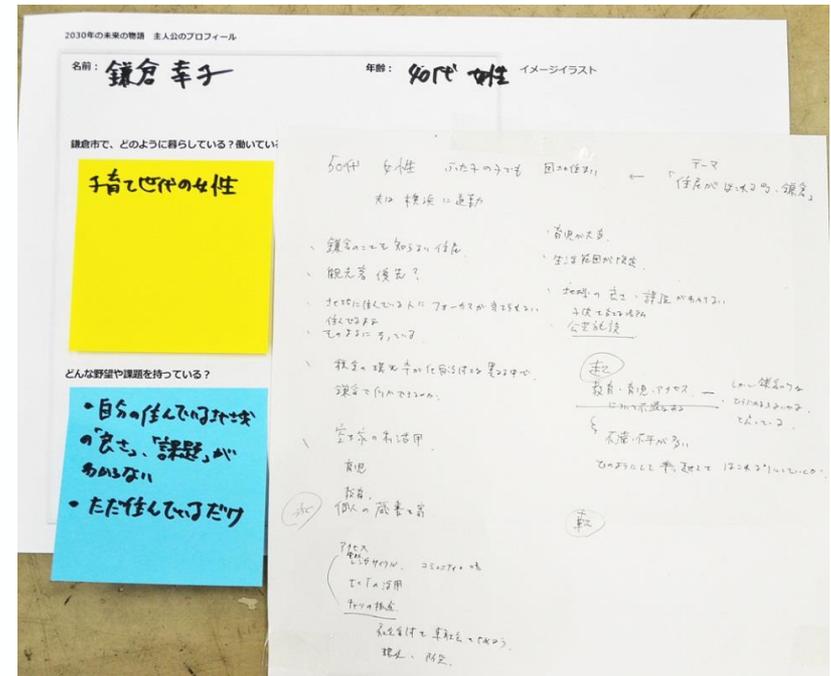
そんな時期を経て、鎌倉の人たちの中には「有志」という関係が広がっていきます。お互い様という考えが育まれていくのでした。

Social (社会)
Environment
economy



Presentation

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち

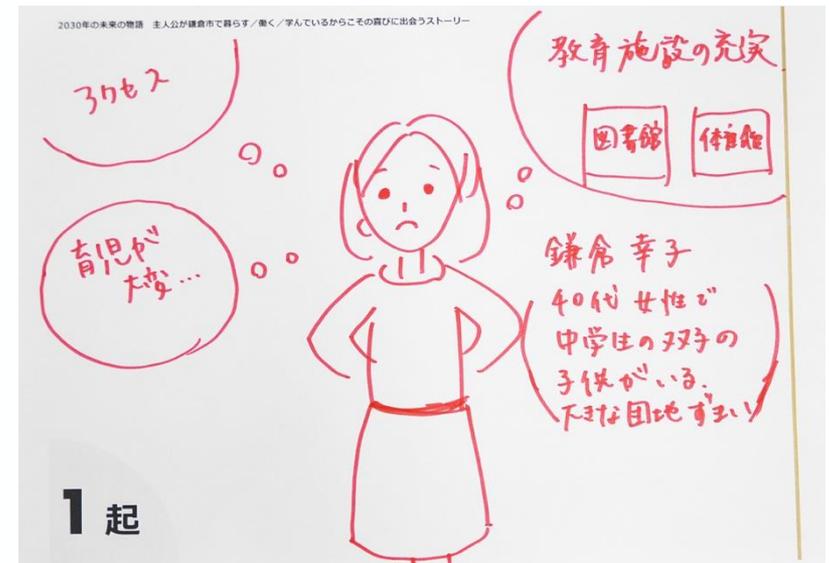


Social (社会)
Environment
economy

Presentation

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち①

主人公の名前は鎌倉幸子さん。40代の女性です。彼女は子育てに忙しい毎日ですが、日々の暮らしにそれほど不満があるわけではありません。

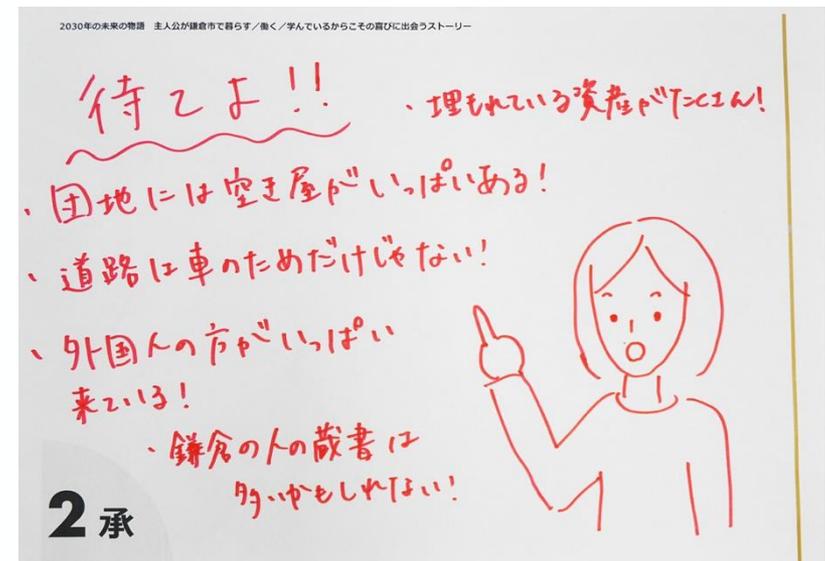


Social (社会)
Environment
economy

Presentation

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち②

ただ、あるとき、“待てよ？”と立ち止まりました。鎌倉の団地にたくさん空き家があります。道路の活用ももっと考えられそう。鎌倉に住んでいる人の蔵書の数も多そうです。埋もれている資産がたくさんあることに気づきます。

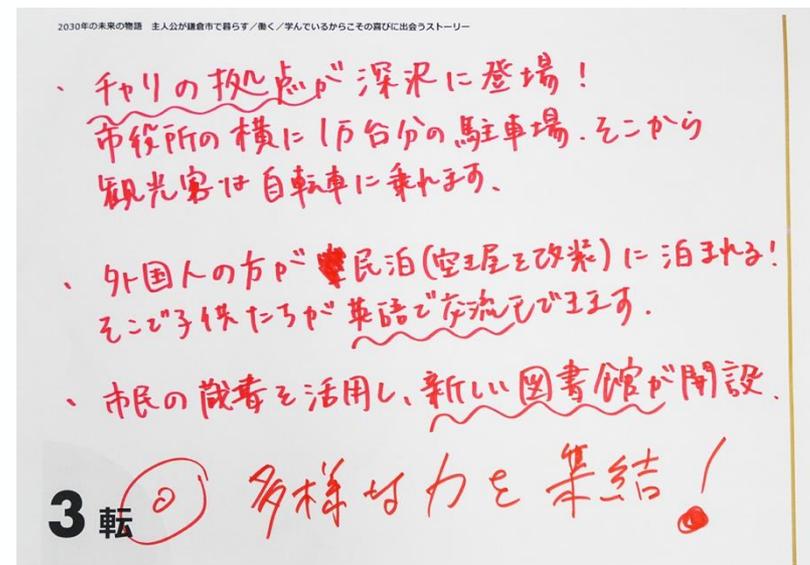


Social(社会)
Environment
economy

Presentation

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち③

深沢にチャリの拠点ができました。ここから自転車で鎌倉を楽しむ人たちが増えるようになります。また、民泊をした外国人と子どもたちが英語で交流したりするようにもなりました。

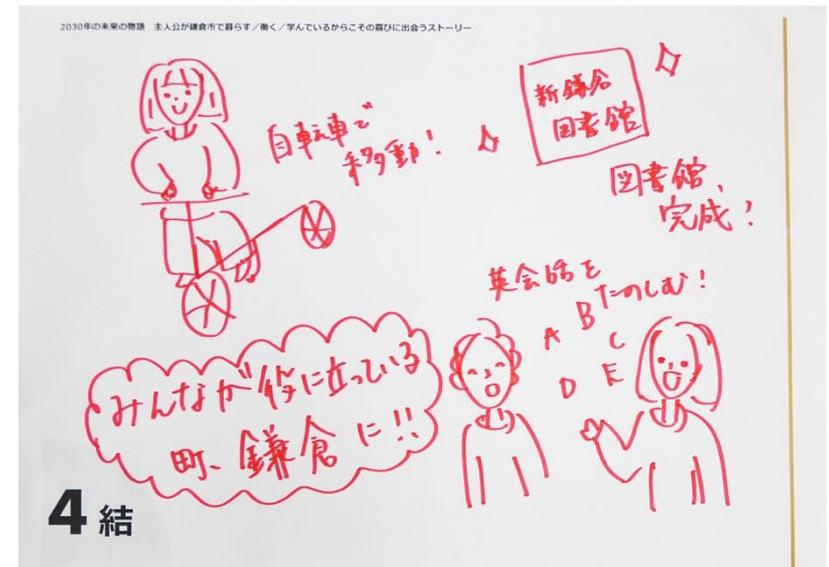


Social(社会)
Environment
economy

Presentation

なんとなく暮らしている主婦が鎌倉でつながる幸せを実感できるまち④

誰もが役に立っていると感じられるまち、
鎌倉。移動は自転車でどこへでも行くこと
ができます。空き家を活用した図書館がで
きたりもしています。



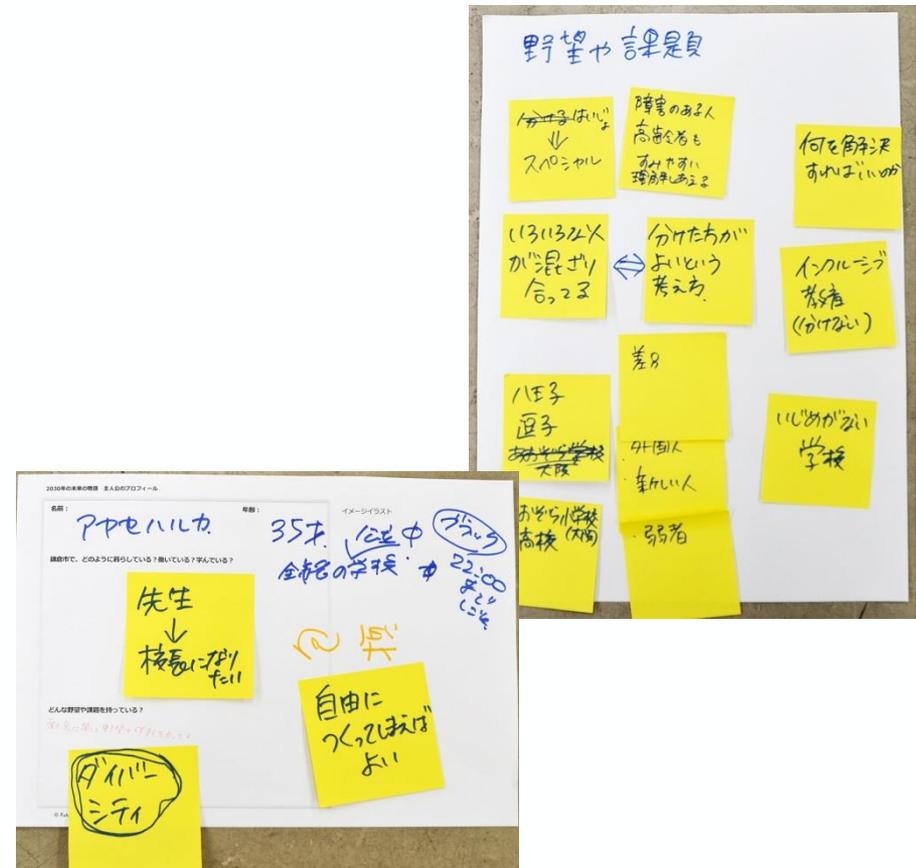
Social(社会)
Environment
economy

Presentation

一教員でもコミュニティスクールができるまち



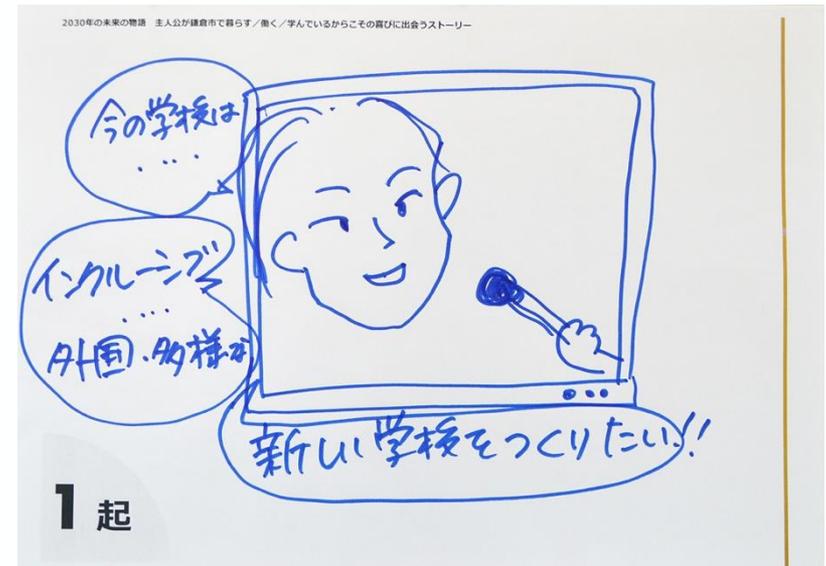
Social (社会)
Environment
economy



Presentation

一教員でもコミュニティスクールができるまち①

主人公は、綾瀬はるかさん、35才です。公立中学校で先生をしていますが、職場はブラックな環境です。ある日、街頭インタビューで不満をぶちまけたところ、それが全国放送されました。



Social(社会)

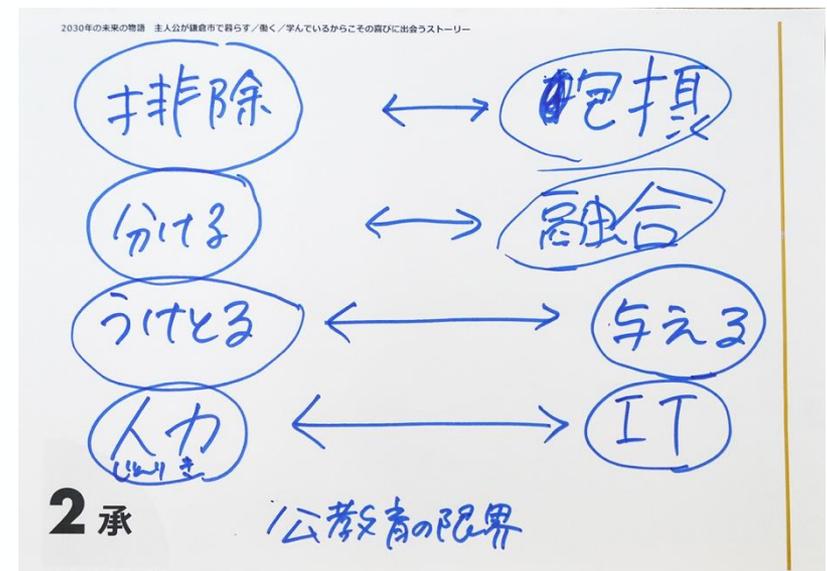
Environment

economy

Presentation

一教員でもコミュニティスクールができるまち②

はるかには本気で「変えたい」と思いました。
「排除」から「包摂」へ、「分け隔てる」
から「融合」へ、「人力」から「IT」の
活用へ。そして「受け取る」だけでない
「与える」幸せへ……。



Social(社会)

Environment

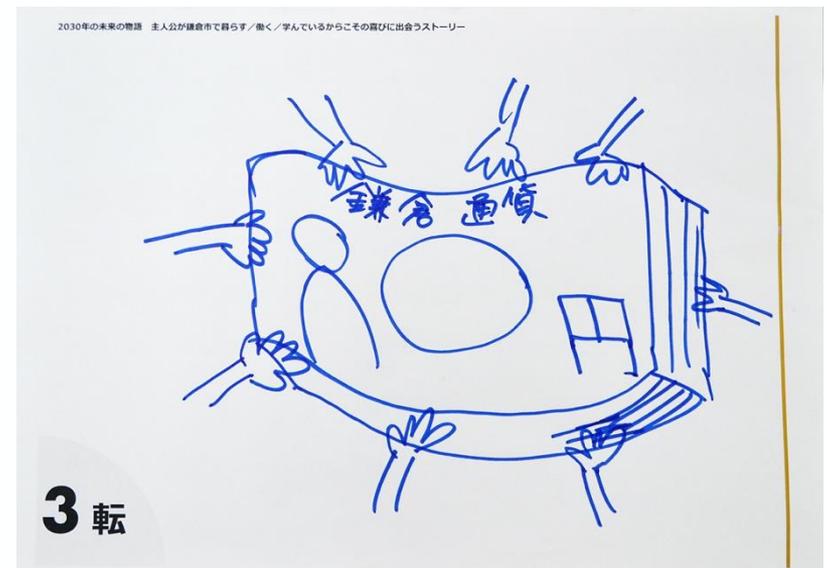
economy

Presentation

一教員でもコミュニティスクールができるまち③

いくら思ったところで先立つものがないと何もできません。そこでクラウドファンディングを超えた新しい集金方法を模索します。その結果、資金だけでなく想いも集まりました。

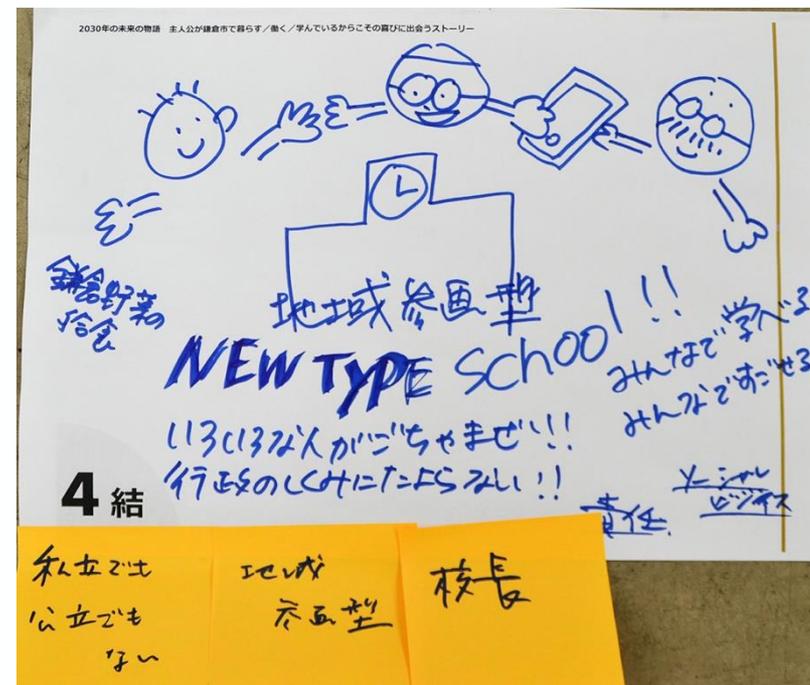
Social (社会)
Environment
economy



Presentation

一教員でもコミュニティスクールができるまち④

それを元手に、私立でもなく、公立でもなく、行政の仕組みでもない、地域参画型の新しい学校ができました。



Social (社会)
Environment
economy

環境の視点から考えた 2つの未来の物語

環境 A

障がいを持つ人も
高齢者も子どもも
みんなが学び楽しく
自分を活かせるまち

環境 B

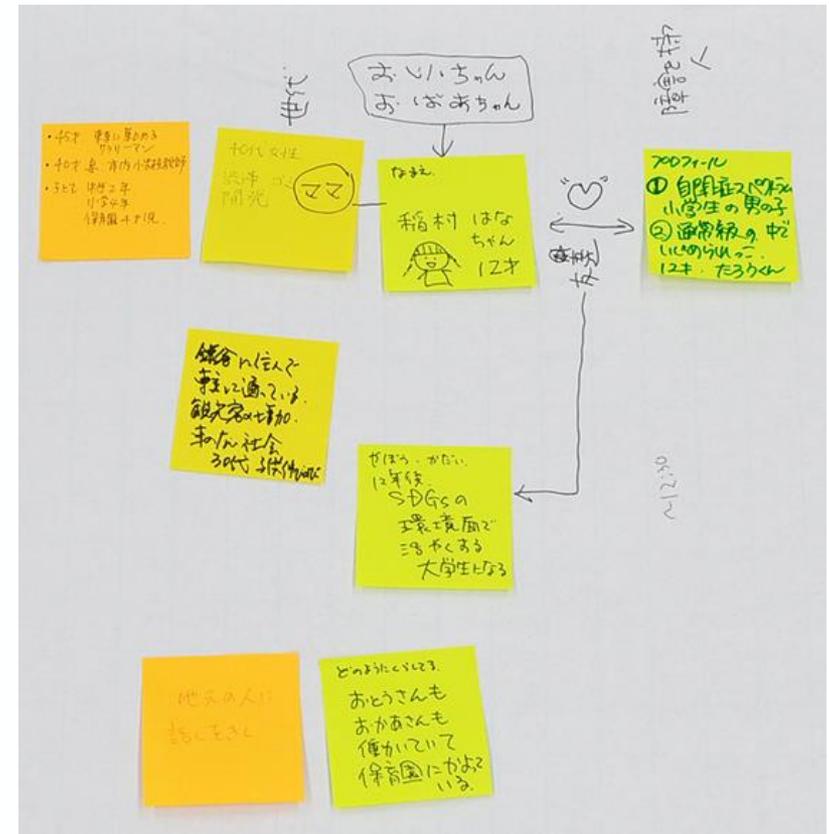
外国人が
一住民として
地元で活躍できる
まち

Presentation

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち



Social
Environment (環境)
economy



Presentation

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち①

主人公は稲村花ちゃん、12才です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと一緒に暮らしています。仲良しの友達は、自閉症スペクトラムの太郎くんと、代官山に住む鎌倉大好きな太陽くんです。



Social
Environment (環境)
economy

Presentation

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち②

花ちゃんは、自閉症の太郎さんと安心して遊べる緑の公園が、鎌倉には少ないことを不満に感じています。そこで花ちゃんは、日頃から歩きまわって、地域の緑マップをつくり、緑に関わる遊びを研究しました。



Social
Environment (環境)
economy

Presentation

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち③

ある日、太郎君は街中で迷子になり、ケガをしてしまいます。救急車を呼んでも、すぐには来てくれませんでした。このことから、道路の渋滞が問題であることがわかりました。

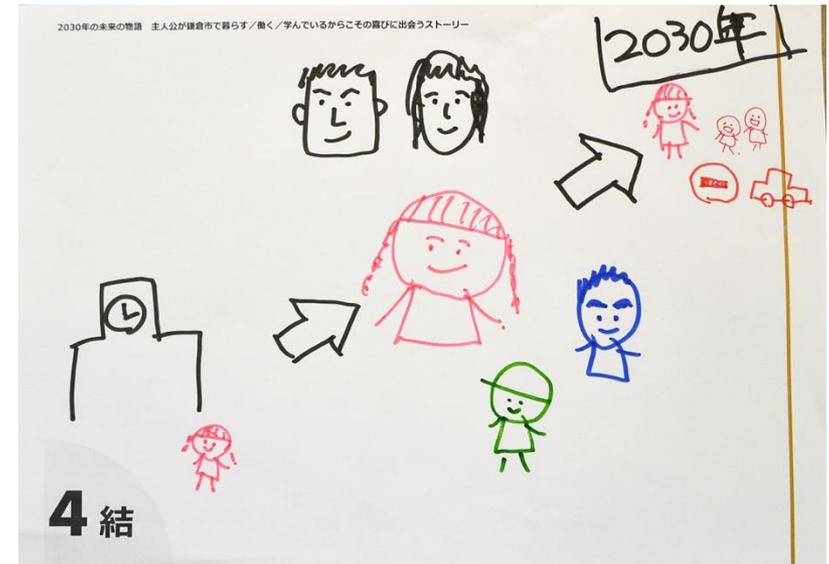


Social
Environment (環境)
economy

Presentation

障がいを持つ人も高齢者も子どももみんなが学び楽しく自分を活かせるまち④

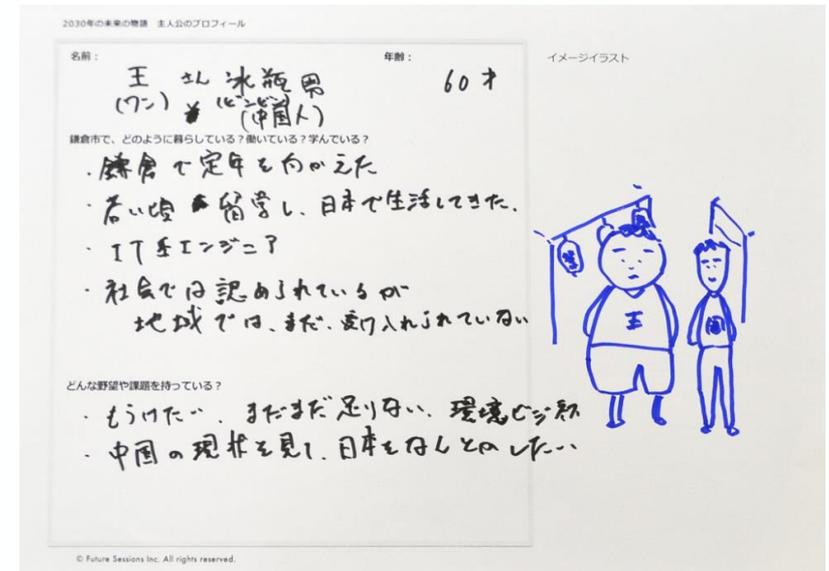
学び続けた花ちゃんは、大人も巻き込んだ活動をスタート。市民以外の自動車を流入させないルールをつくるきっかけとなります。これが排ガスの少ない鎌倉を実現することになりました。



Social
Environment (環境)
economy

Presentation

外国人が一住民として地元で活躍できるまち

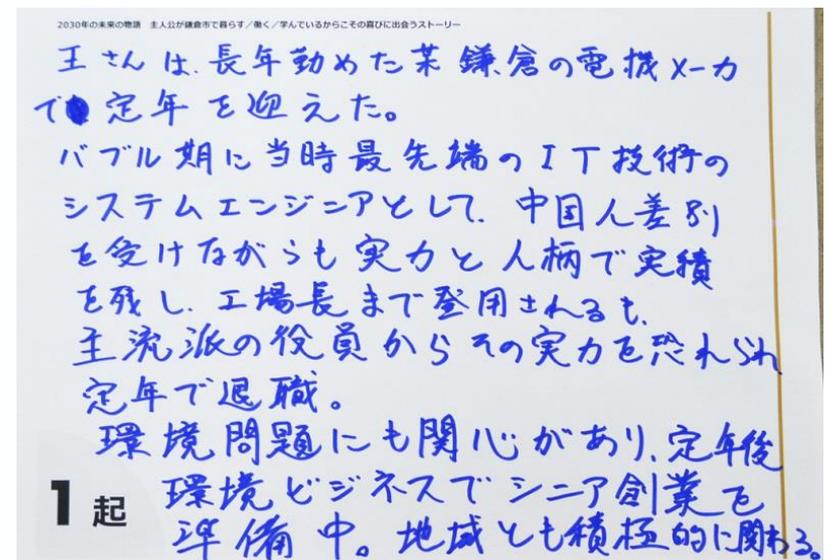


Social
Environment (環境)
economy

Presentation

外国人が一住民として地元で活躍できるまち①

主人公は中国人の王さん、60才。王さんは長年勤めた電機メーカーで定年を迎えました。バブル期にはIT技術系SEとして、中国人差別を受けながらも実績を残し、工場長まで登用されました。いまは環境問題に関心があり、環境ビジネスでシニア創業を準備中。地域にも積極的に関わっています。



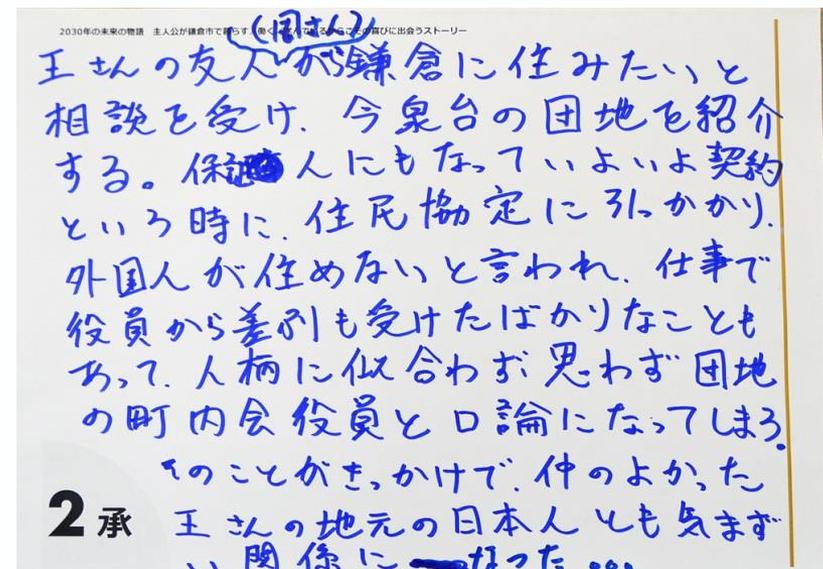
Social
Environment (環境)
economy

Presentation

外国人が一住民として地元で活躍できるまち②

王さんは友人から「鎌倉に住みたい」と相談を受けて、今泉台の団地を紹介します。ところが住民協定に引っかかり、外国人は住めないと言われました。仕事で差別を受けたこともあって、思わず団地の町内会役員と口論に発展。それがきっかけで、仲がよかった地元の日本人とも気まずい関係になり……。

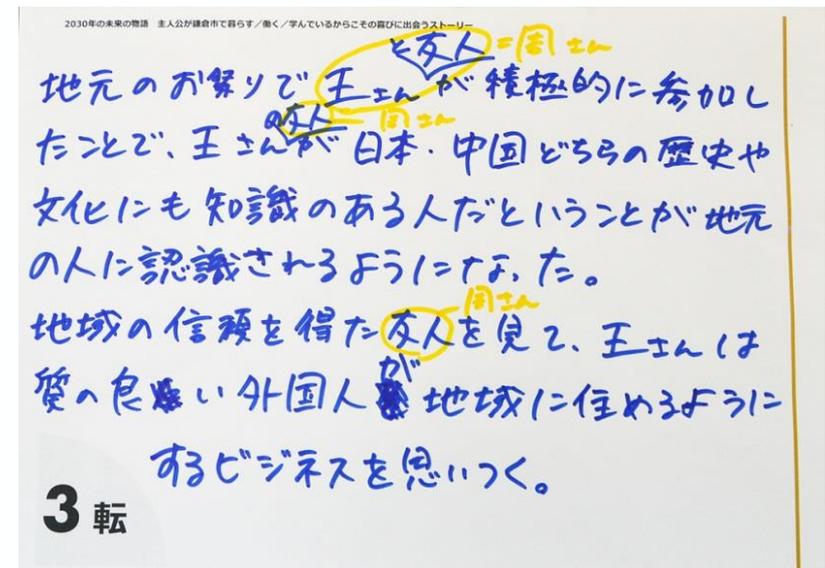
Social
Environment (環境)
economy



Presentation

外国人が一住民として地元で活躍できるまち③

王さんと友人のふたりで、鎌倉のお祭りに積極的に参加。そこから、王さんの友人が日本・中国どちらの歴史や文化についても知識のある人だと、地元の人に認識されるようになります。地域の信頼を得る友人を見て、王さんは質の良い外国人を地域に住めるようにするビジネスを思いつきました。



Social
Environment (環境)
economy

Presentation

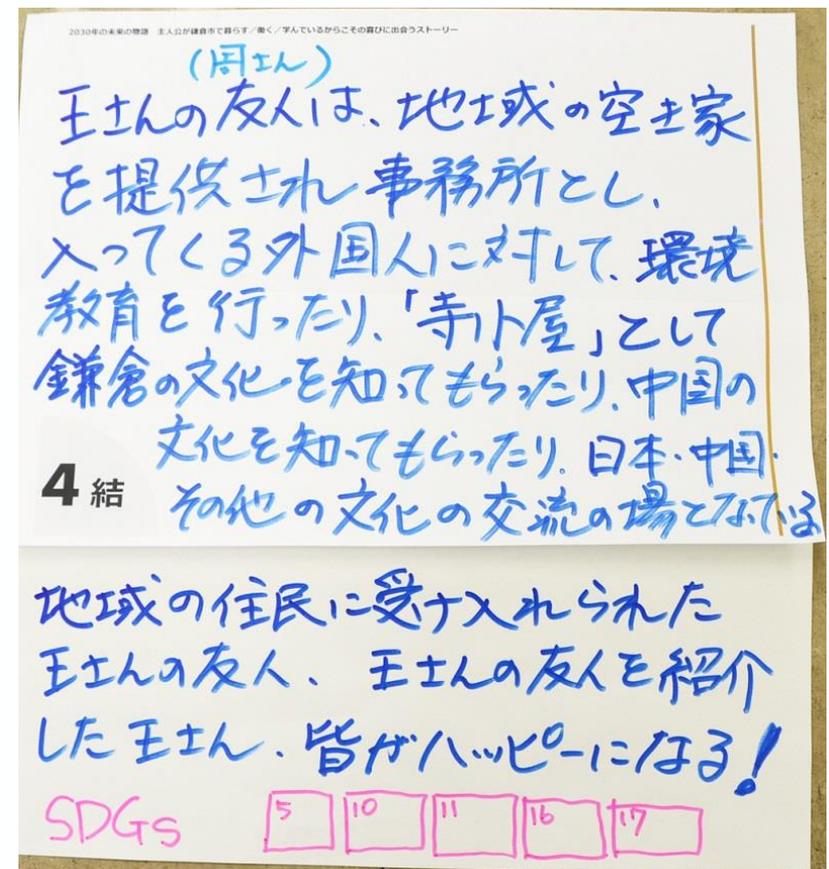
外国人が一住民として地元で活躍できるまち④

王さんの友人は、提供された地域の空き家を事務所としました。そして、鎌倉にやってくる外国人に対して環境教育を行ったり、「寺子屋」として鎌倉の文化を知ってもらったり、反対に中国の文化を学んでもらったりしました。それはやがて日中、その他の国の文化交流の場となりました。地域の住民に受け入れられた王さんの友人、王さんの友人を紹介した王さん、みんながハッピーになりました。

Social

Environment (環境)

economy



経済の視点から考えた 3つの未来の物語

経済 A

モヤモヤしていた人
が自分の得意を
活かしてわくわく
楽しく働ける街

経済 B

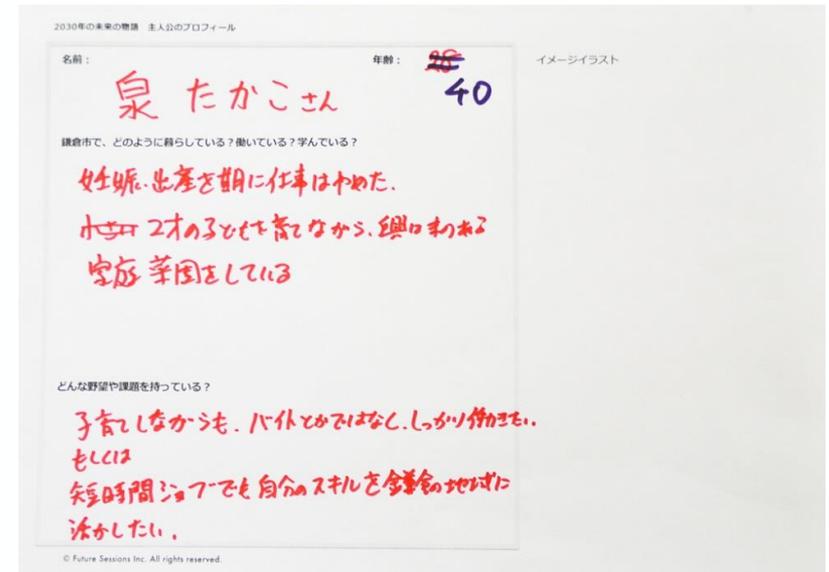
打率2割の人が
盗塁できるまち

経済 C

魚屋の跡つぎが
王子になれるまち

Presentation

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働ける街

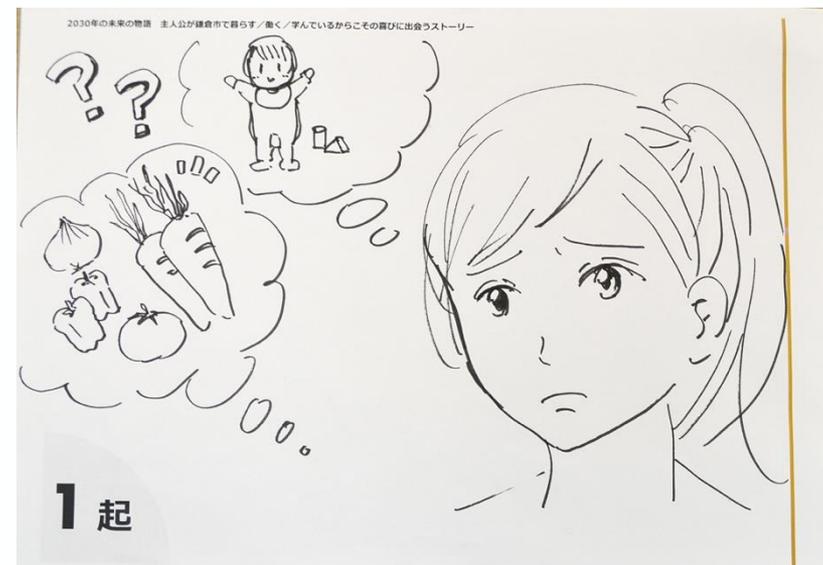


Social
Environment
Economy (経済)

Presentation

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働ける街①

泉たか子さんは2018年で28才です。子どもはいるけど、なにかモヤモヤを感じています。家庭菜園の趣味もあるけれど、これから何をしよう……。

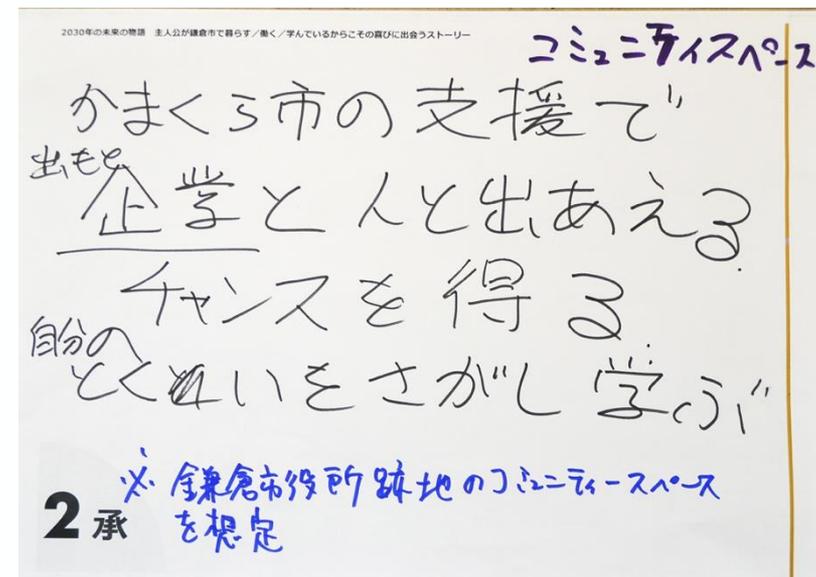


Social
Environment
Economy (経済)

Presentation

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働ける街②

鎌倉市は空き地にコミュニティスペースを作り、企業と人が交流してチャンスを広げたり、自分の得意を探して学べたりするようになりました。



Social

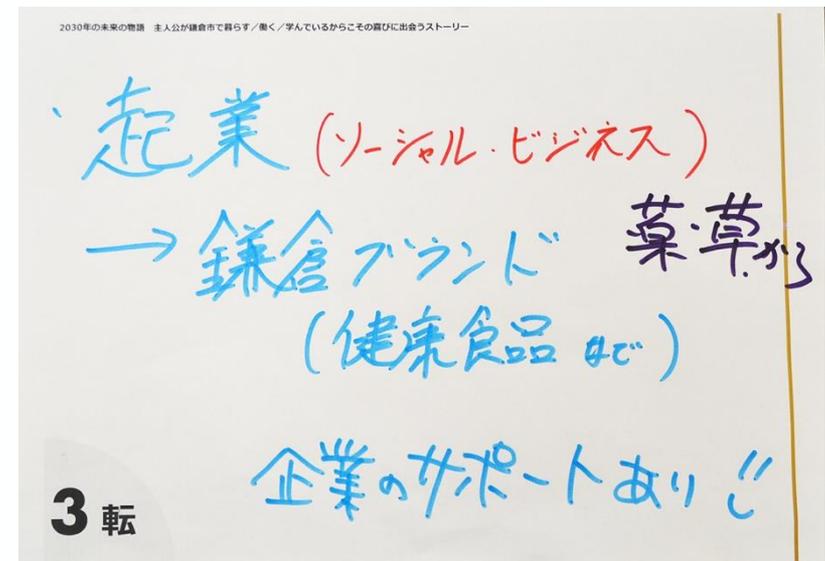
Environment

Economy (経済)

Presentation

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働ける街③

たか子さんは、趣味を生かしてソーシャルビジネスで起業をしたいと思うようになりました。鎌倉ブランドを活かし、薬草や健康食品を作ってはどうかと考えています。企業もサポートしてくれます。



Social

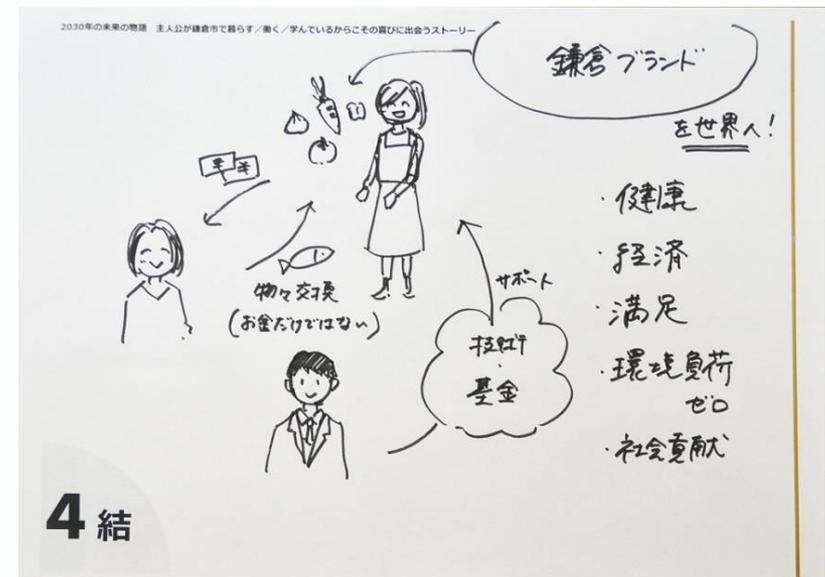
Environment

Economy (経済)

Presentation

モヤモヤしていた人が自分の得意を活かしてわくわく楽しく働ける街④

市の援助などをもとに起業して、鎌倉ブランドの健康食品を作ることに成功した、たか子さん。金銭的にも成功しましたが、ときには地元で物々交換もしています。企業ともやりとりが増え、技術や基金の支援も受けられるようになりました。地域での経済循環が生まれることを実感し、このモデルを世界にも展開させたいと野望が広がりました。すべての人の得意を生かし、ビジネスに生かせる仕組みができるだけでなく、他の地域でもこのような循環を生み出す機会を作るまちになりました。

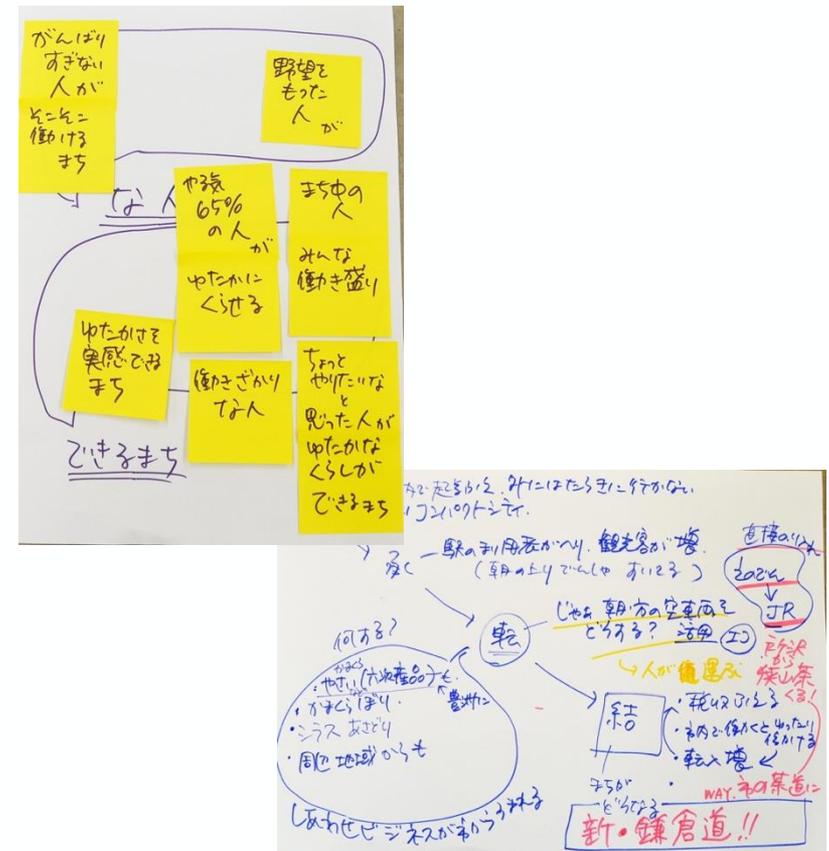


Presentation

打率2割の人が盗塁できるまち



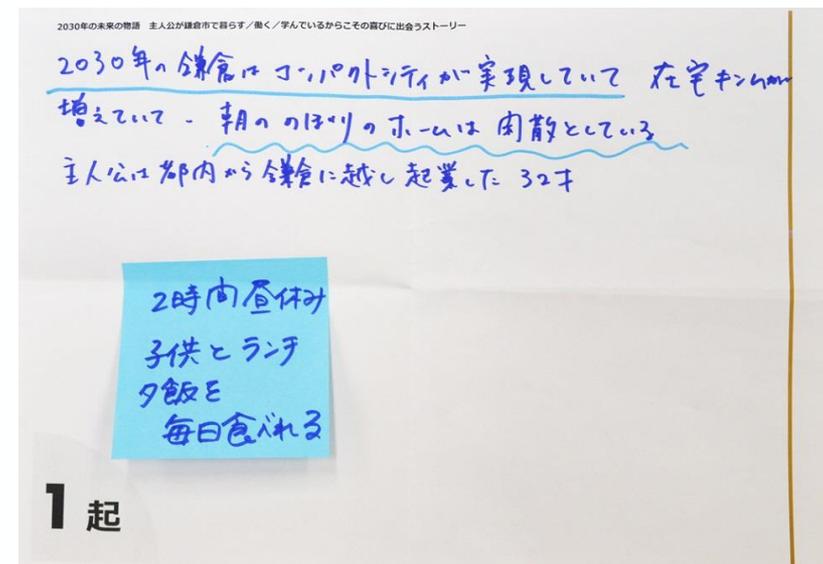
Social
Environment
Economy (経済)



Presentation

打率2割の人が盗塁できるまち①

鎌倉みちさんは、32才でジェンダーフリー。鎌倉で起業して、ものづくりをしています。鎌倉は2030年、コンパクトシティを実現。昼休みを2時間取るなど、フレキシブルな働き方が普及し、家族と過ごす時間が増えました。在宅勤務が増え、通勤客がいらないため、朝の上りホームはガラガラ。駅の人には悩んでいます。



Social

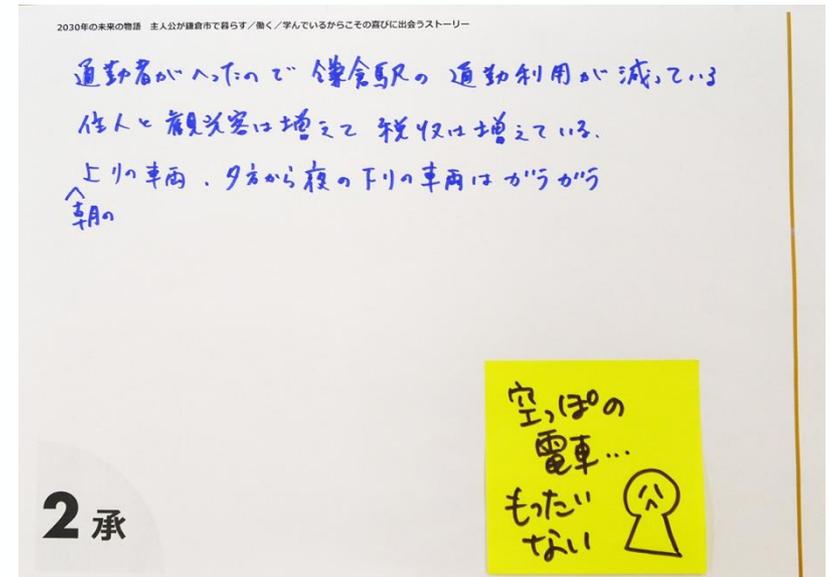
Environment

Economy (経済)

Presentation

打率2割の人が盗塁できるまち②

住人と観光客が増えているのでまちの税収は増えていますが、朝の上り車両、夕方から夜の下り車両はガラガラになり、空き車両がもったいないと思うようになりました。

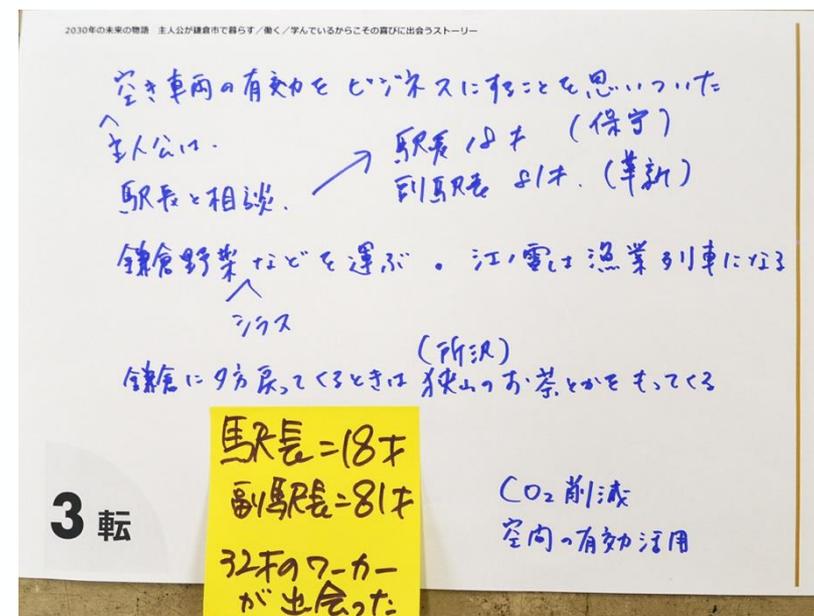


Social
Environment
Economy (経済)

Presentation

打率2割の人が盗塁できるまち③

そこでみちさんは、空き車両の有効活用ビジネスを思いつきます。朝は鎌倉野菜やシラスなどを別の地域に運び、鎌倉に夕方戻ってくる電車は、所沢・狭山のお茶などを持って帰るようになります。江ノ電は漁業列車に！



Social

Environment

Economy (経済)

Presentation

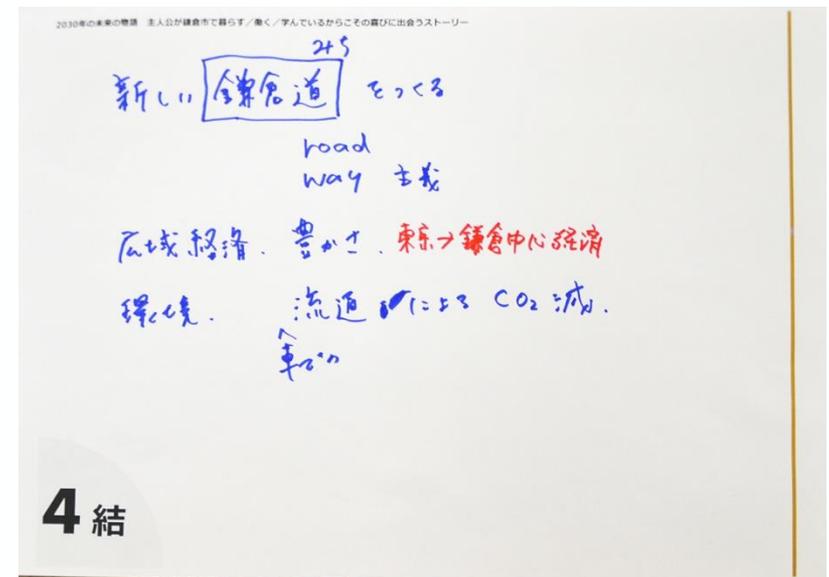
打率2割の人が盗塁できるまち④

これが新しい「鎌倉道」となりました。大量生産・大量消費ではなく、新しいライフスタイルの実現をやりとりできる道です。脱炭素にも対応。鎌倉資本主義と呼ばれ、地産地消が増え、人の交流が増え、お金以外の流通が増えました。常にホームランを狙ってがむしゃらに働くのではなく、打率2割の人がちょっとしたことで盗塁できる。そんな肩の力の抜けたまちになりました。

Social

Environment

Economy (経済)

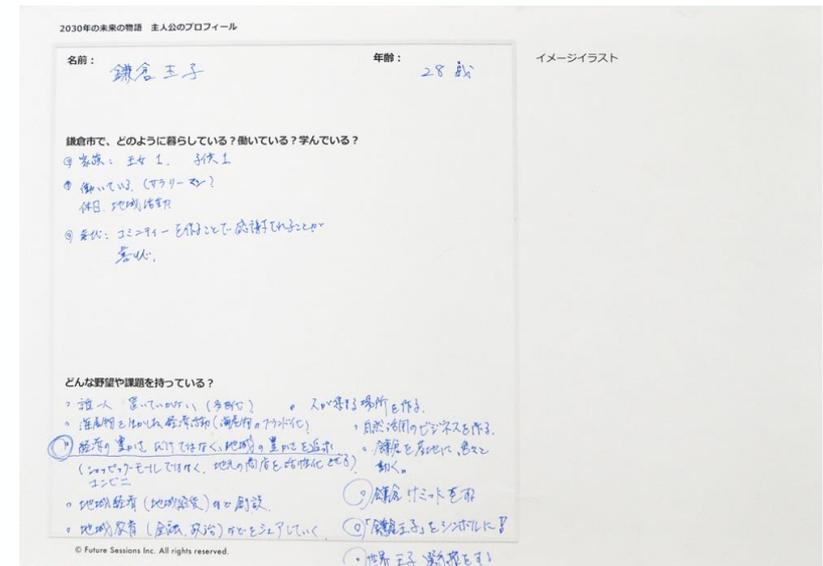


Presentation

魚屋の跡つぎが王子になれるまち



Social
Environment
Economy (経済)

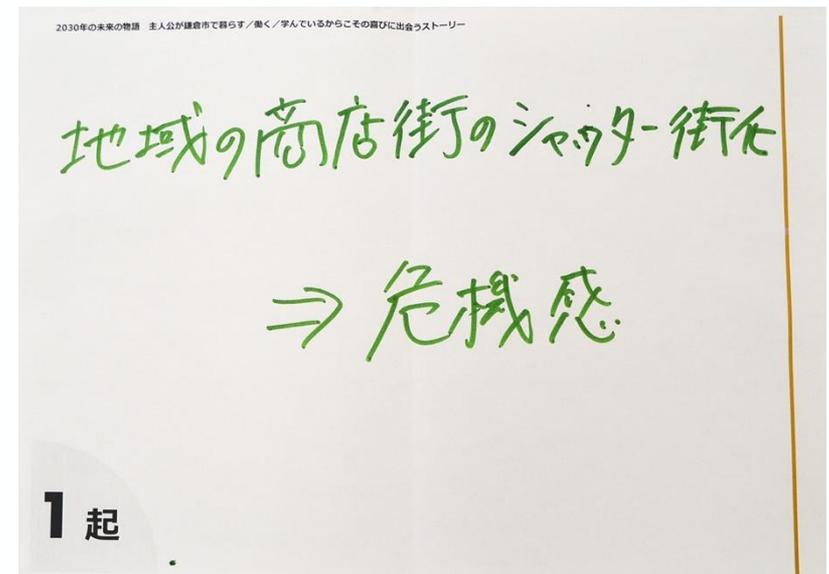


Presentation

魚屋の跡つぎが王子になれるまち①

これはノンフィクションのストーリーです。
地元の商店街のシャッター街化に危機感を持った主人公。

Social
Environment
Economy (経済)

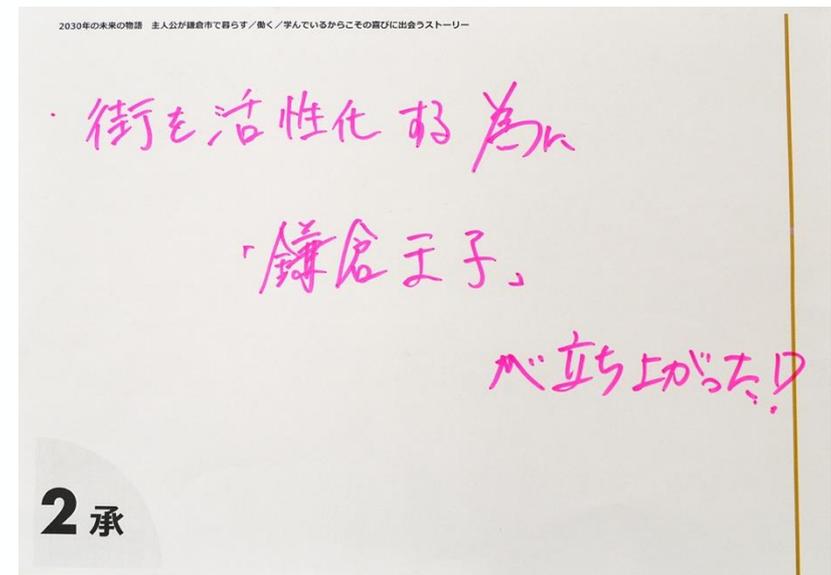


Presentation

魚屋の跡つぎが王子になれるまち②

まちを活性化するために「鎌倉王子」として、立ち上がりました！

Social
Environment
Economy (経済)



Presentation

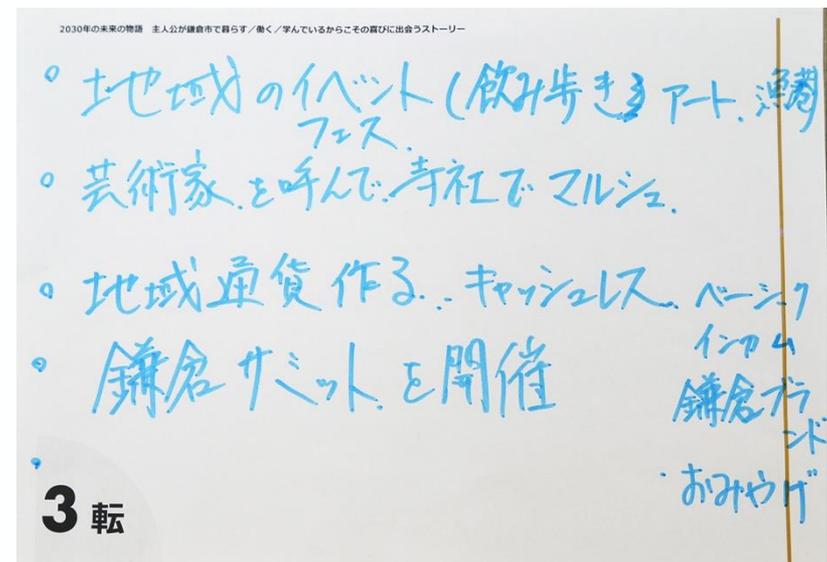
魚屋の跡つぎが王子になれるまち③

王子は、地域イベント、飲み歩き、アートフェス、漁港活用、芸術家を呼んで寺社でマルシェなど、様々な取り組みを実施。また、地域通貨によって、キャッシュレスでお金がなくても色々と循環する仕組みをつくります。ベーシックインカムを実現させるための取り組みや、鎌倉ブランドのお土産もつくりました。そして、遂には「鎌倉サミット」が開催されることに。

Social

Environment

Economy (経済)



Presentation

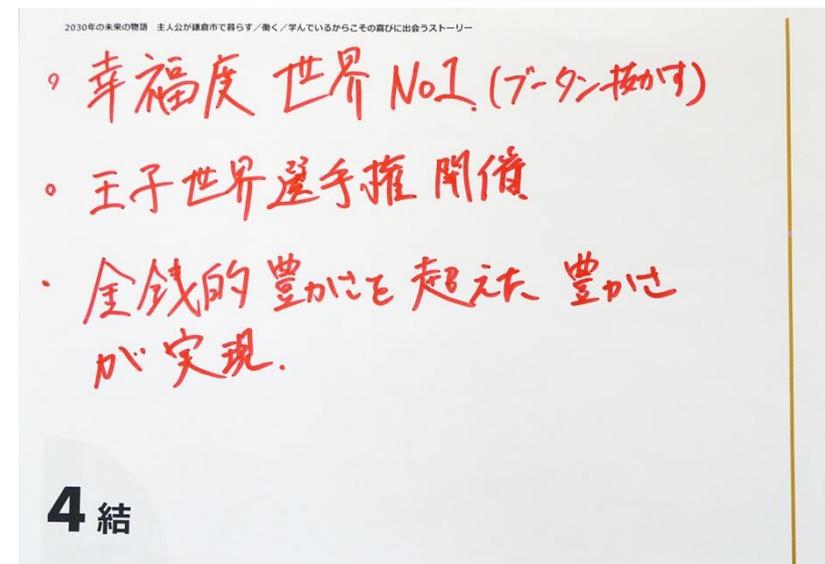
魚屋の跡つぎが王子になれるまち④

鎌倉は幸福度世界ナンバー1のまちになりました。鎌倉では、世界中の王子が集まる、王子世界選手権が開催されます。世界中からやって来た王子は、鎌倉にたくさんのお金を落とします。また、多様な交流が生まれ、金銭を超えた豊かさも実現。この王子の物語は、テレビドラマ化。金銭的な豊かさを超えた「豊かさ」を目指す鎌倉人として取り上げられました。

Social

Environment

Economy (経済)





2018.12.22

鎌倉の未来について考え
行動するためのワークショップ